

第 11 回 KOZOOM サロン 28 のご案内

5月のKOZOOMサロン28のご案内です。前回の4月28日は、5月9日の「母の日」に先立って「母を語り」合いました。きっと母たちも、思わぬ私達の語りにびっくりしたり喜んでくれたことでしょう。数あるZOOM同窓会でも本邦初演ではないでしょうか。



5月度は5月28日〈金〉に、6月20日（日曜日）の「父の日」に先立って「我が父」を思う存分、語り合しましょう。

内容はもちろん皆様のご自由ですが、先日「母を語った」経験も生かして話のタネまでに書いて見ましたのでご参考にして下さい。

○ 漢字の成り立ちが語る「父」と「母」の役割の違い

「父」の漢字は、斧二本を交差した古代中国の象形文字のあらゆる敵と戦う「子を持つ」父の根源的役割をズバリ表しているそうです。家族の将来、一家を襲う困難や不幸、生命の危険、貧困などすべての敵と戦う家父長として、斧を振りかざしてでもあらゆる外敵から最愛の家族を守る「嚴父」それが父の根源的役割です。二本の斧を交差したこの父という漢字はよく出来ていると思います。

いうことを聞かないと母に「それじゃお父さんに言いつけるからね」と言われた人も多いのではありませんか。そういえば「慈母」とは言っても「嚴母」とは普通、言いませんね。

「母」の漢字の成り立ちは、「、」「、」が、子供を次々に生み育てるという根源的役割を象形文字で表しているそうです。古代中国人はよく考えました。「母」だけでなく「梅」、「毎」、「毒」の「、」「、」も「次から次に増える」を表しているそうです。

では5月28日にお会いできるのを楽しみにしています。

「父を語る」といった機会はいまでもなかったことでしょう。これをチャンスに前回と同じく、皆様に父の思い出を400字程度の短文に書いてほしいのです。お書きになった原稿は、高津5期ホームページにいただきまとめて掲載させていただきます。そしてKOZOOMサロン28では、それを読むのではなく、それを元に3分程度お話いただきたいとおもいます。

もちろんテーマは固い縛りではありませんので、別なテーマでお話いただくのは自由です。

会の進行プログラムは、いつものように新入会の方がいましたら、その方の挨拶と現在の生活のご紹介をいただきます。その後司会者のご指名に添って「**わが父を語る**」をお願いいたします。

日時： **5月28日（水） 午前10時～12時**

招待状： 前日の5月27日(火)に席亭主役の藤本勇より、皆さんへ招待メールが発信されます。前日中に、届いていることを確認だけして、**何もせずそのまま閉じてください。**

そして当日、9時50分位から、メールを再度開いて、今度は「招待を受ける」をクリックしてください。以下パソコンが指示するまま所定の記入をしていただければ入室出来ます。

その際ビデオと音声付になっていることをご確認ください。出た自画像画面の左下のマイクとカメラのロゴに**バツがついていなければ** OK です。

スマートフォンやタブレットからでもZOOMに参加出来ます。

多くの皆様の参加と、まだ参加されておられない方へのお誘いをお願いします。

当番司会・高津5期 KOZOOM サロン幹事 太田隆次

招集元 席亭主 藤本勇

幹事団 石原靖造
太田隆次
松原和子
山本健太郎
野口幹夫